



コーちゃん・オーちゃんの 「見つけた！豊岡元気人」



小さくても輝く

豊岡の飲食店を知ってほしい！

個人営業店を中心に、豊岡の飲食業を盛り上げるために、イベントを企画する元気な男性を紹介します。

河本^{こうもと}

康伸^{やすのぶ}さん(37歳)正法寺



盛り上がった第一回とよおかまちバル



まちバルマップを手にする河本さん

FMジャングルでもPR

「居酒屋・ラーメン屋・焼き肉屋・中華料理屋・スナック・バー」。複数の店から好きな5店を選んで「はしご酒・食べ歩き」を楽しむイベント。とよおかまちバル。第一・二回の実行委員長を務めたのが河本康伸さんです。

豊岡を盛り上げたい

豊岡の市街地で飲食店を営む河本さん。お客さんからの「豊岡の人は新し物好きで、飽きると逃げてしまう。豊岡で商売しても、はやらない」という一言がずっと気になっていました。

河本さんが、生まれ、育ち、現在は店を構えている豊岡。愛着のあるまちがそのように言われることを、とても悲しく感じていました。「何かで盛り上げなくては」と考えていたとき、同級生に、とよおかまちバルの実行委員にならないかと誘われました。

刺激を受けた「まちバル」

実行委員を引き受けたものの、まちバルのことを全く知らなかった河本さん。先進地の伊丹市や姫路市に出掛け、実際にまちバルを体験してみました。

1日に千人のお客さんを受け入れる飲食店、店に並ぶ長い蛇の列、音楽イベントとの共催。活気に驚くとともに、飲食店や行政などの各種団体が一緒になってまちを盛り上げる姿に刺激を受けました。

とよおかまちバル

豊岡に帰ると、第一回の開催(平成25年6月19日)に向けて、一軒ずつ、店に参加を呼び掛け、実質40店の協力を得ました。しかし、5枚1セットで3千円(前売り)のチケットが、どれだけ売れるか予想もつきませんでした。参加店は、チケット1枚で1ドリンク・1フード(バルメニュー)を提供します。店の受入体制などを考えると、売れ過ぎても売れなさ過ぎても具合が悪いところ、目標の500セットを販売できました。

お客さんからは「5店の組合せを考えるだけでもウキウキした。価格は手ごろ。知らない人との会話も弾んで、とても楽しかった」と喜びの声が届きました。

また、店からは「もうけはあまりないが、いい宣伝になった。調理場はてんでこま

だった。豊岡を盛り上げるために協力できて良かった」とのうれしい声が聞かれ、このイベントでの自信につながりました。

今年4月24日の第二回は、エステや音楽イベントも取り入れ、飲食業だけにこだわらない開催にしました。参加店は、55店に拡大し、チケット1100セットを販売目標にしました。

夜もにぎやかな豊岡に

「豊岡にはすてきな店がたくさんある。店の雰囲気や店員の笑顔、料理、メニューの価格などを見てもいい、いろいろな店を楽しんでほしい。まちバルでは、敷居の高い店なども、気軽に入れる。お気に入りの店を見つけてほしい」とほほ笑みます。

今後は、年に2回程度の開催にしたいとのこと。「さらに業種を広げ、まち全体を盛り上げたい」と目を輝かせます。河本さんは、「豊岡のまちの姿をほろ酔い歩きで見てもらえたら、もっと豊岡を愛してもらえたらと思う。まちバルがそのきっかけになれば」と期待を込めます。

ま ち の 話 題



▲前日の雨の影響で芝生が使用できず、校舎玄関前でイベントを実施

田中利奈と共に2台のピアノと
声楽とフルートのプレミアム演奏会
市役所に響くクラシックの音色

3月22日、市役所本庁舎でクラシック演奏会が開催されました。

この演奏会は、豊岡市在住のフルート奏者 田中利奈さんが企画したもので、ソロやアンサンブルで、アヴェマリアや情熱大陸など20数曲が演奏されました。

一番の見せ場は、5人全員での合奏。東日本大震災の復興ソング「花は咲く」を披露し、息のピッタリと合った見事な演奏で会場を沸かせました。その他、普段、あまり聴く機会のない2台のピアノの同時演奏なども行われ、訪れた約100人の聴衆は、美しいクラシックの調べに酔いしれました。



▲(左から)田中利奈さん、金澤瑞穂さん、金澤麻衣さん、谷口瑞穂さん、船越 優さん

「福住校区民

花見のつどい」

桜の木の下、地域住民が交流

4月5日、福住小学校で「福住校区民花見のつどい」(主催・花見のつどい実行委員会)が開催され「但馬ミュージカル研究会」や「出石高校吹奏楽部&福住小学校金管バンド」などが歌や演奏でつどいを盛り上げました。

実行委員長の久本慈光さんは「グラウンドを芝生化して、初めての地域住民を招いたイベントです。関係者の皆さんの協力で開催することができました」と話しました。約300人の参加者は、桜を見ながら野だての抹茶やバザーの焼きそばなどを食べ、春のイベントを楽しんでいました。

笑顔の輪

楽器ははじめに、遊びはバカに！
豊岡吹奏楽団

豊岡吹奏楽団は、昭和54年から活動を続けている歴史ある楽団です。中学校や高等学校で吹奏楽をしていた人たちが、社会人になってからも吹奏楽を楽しみたいと考えましたが、当時は活動の場所がなかったため、自分たちで立ち上げたのが始まりです。

練習は、毎週水曜日と土曜日の午後7時30分から2時間、豊岡小学校で行っています。

現在のメンバーは約30人。団の雰囲気が好きで、朝来市や新温泉町から参加している団員もいます。



▲練習から「楽器の技量の高さがうかがえます。特にパーベキューでは、白熱したバドミントン大会が繰り広げられ、この時ばかりは音楽のことは頭から離れます。「楽器ははじめに、遊びはバカに」をモットーに、メリハリをつけて楽しむことが、良い演奏の秘訣とか。...

主な活動は、秋の定期演奏会をはじめ、コウノトリ但馬空港フェスティバルや、市民音楽祭での演奏など。その他にも、地域に貢献したいとの思いから、小学校や、敬老会での演奏も行っています。

演奏の幅は広く、ジャンルにこだわらず、聴く人が楽しめる曲を選曲します。「いろいろなジャンルの曲が演奏できるのが、吹奏楽の魅力」と、団長の成田さんと指揮者の中井さんは楽しそうに語ります。演奏会以外にも重要な行事があります。それは、団員の親睦を目的に年3回実施する新年会やパーベキューなど。

見学・入団希望は、副団長の山本さんまで。
☎090-1484-0711